

定期検査基準：エレベーター

本資料は、株式会社ケーエム（旧：金子製作所）製巻上機に対する、綱車溝およびブレーキパッド判定基準詳細を示します。

また、判定基準は昇降機検査資格者及び、システム、制御装置に関する基本的知識をお持ちの専門技術者の方を対象に記載しておりますことご承知おきください。

1. 綱車（駆動シーブ）（ロープ溝の磨耗基準）

綱車のロープ溝の磨耗基準は、表 1 の通り管理願います。

綱車の山からロープ山まで(δ)を計測してください。

次の数値内が正常値です。範囲を越える場合に要是正となります。

巻上機の綱車の交換を行ってください。

表 1 <摩耗基準>

105° アンダーカット溝

ロープ径 $\phi 12$: $1.4 \text{ mm} < \delta$

ロープ径 $\phi 14$: $2.4 \text{ mm} < \delta$

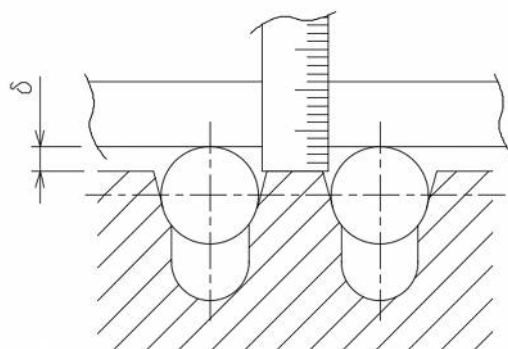
ロープ径 $\phi 16$: $3.4 \text{ mm} < \delta$

35° UV カット溝

ロープ径 $\phi 12$: $0.5 \text{ mm} < \delta$

ロープ径 $\phi 14$: $1.0 \text{ mm} < \delta$

ロープ径 $\phi 16$: $1.0 \text{ mm} < \delta$



105° アンダーカット溝と 35° UV カット溝の見分け方

アンダーカット溝 : 溝底 平

UV カット溝 : 溝底 丸

2. 巻上機（KTM,KHM,KSM,E 型）ブレーキパッドの摩耗基準

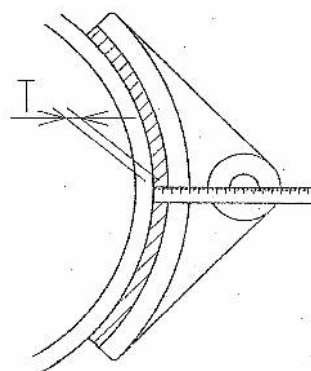
ブレーキパッドの厚みが、重点点検の範囲になった場合には、速やかにブレーキパッドの交換を行ってください。（ブレーキ構造図を図の 2 に示します）

単位:mm

機種	要重点点検		要是正值
	PCM	VFM	
KTM-23	4.8	4.4	4
KTM-26	4.8	4.4	4
KTM-28	4.8	4.4	4
KTM-32	4.8	4.4	4
KTM-36	4.8	4.4	4
KTM-39	4.8	4.4	4
KTM-45	4.8	4.4	4
KTM-55	6	5.5	5
KTM-75	6	5.5	5
KTM-85	4.8	4.4	4
KTM-130	6	5.5	5
KTM-165	6	5.5	5
KTM-190	6	5.5	5
E-200	4.8	4.4	4
E-300	4.8	4.4	4
E-500	4.8	4.4	4
E-1000	4.8	4.4	4
E-1500	4.8	4.4	4
E-2000	4.8	4.4	4
E-2500	7.2	6.6	6
E-1500	4.8	4.4	4
E-2000	4.8	4.4	4
E-2500	7.2	6.6	6
			次項に続く

機種	交換目安 (要重点点検)	BCS 有無	限度厚み (要是正值)
	VFM		
KTM-30F	9.5	無	9.0
KTM-30F	7.5(※1) → 5.5(※2)	無	7 → 5
KTM-30FB	7.5 → 5.5(※2)	有	6.5 → 4.5
KTM-30FB	7.5 → 5.5(※2)	無	7 → 5
KTM-32F	5.5	無	5
KTM-35F	7.5 → 5.5(※2)	無	7 → 5
KTM-38FB	5.0	有	4.5
KTM-38FB	5.5	無	5
KTM-42F	5.5	無	5.0
KTM-45F	9.5 → 5.5(※3)	無	9.0 → 5.0
KTM-50FB	5.0	有	4.5
KTM-50FB	5.5	無	5
KTM-60F	9.5 → 5.5(※3)	無	9.0 → 5.0
KTM-60FB	5.0	有	4.5
KTM-60FB	5.5	無	5
KSM-160	5.0	有	4.5
KSM-160	5.5	無	5
KHM-90	4.4	無	4
KHM-125	4.4	無	4
KHM-40M	5.5	有	5
KHM-40M	7.5	無	7.2

※1:1994.04~ ※2:2003.03.~ ※3:2013.10~



計測箇所参考図